

別紙 4

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業における施設番号		No. 1		No. 2	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7~8	7~8	6~7	6~7
	BOD	5mg/L	10 mg/L	10 mg/L	15 mg/L
	COD	10	20	15	20
	SS	5	10	15	20
	T-N	20	25	10	20
	T-P	0.5	1	1	2
	ノルマルヘキサン抽出物質	<1	2	<1	5
	CN	<0.1	0.5	—	—
	Cr <sup>6+</sup>	<0.1	0.2	—	—
	Cu	<0.5	1	—	—
	Zn	<0.5	2	—	—
	大腸菌群数	—	—	<100 個/cm <sup>3</sup>	3000 個/cm <sup>3</sup>
排水水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	
	210	250	30	40	
その他参考となるべき事項	<p>○No. 1 排水口 工場排水→ 排水処理施設→ No. 1 排水口→ 側溝</p> <p>○No. 2 排水口 し尿、食堂排水→ し尿浄化槽→ No. 2 排水口→側溝</p> <p>○No. 3~6 排水口 雨水専用排水口→ 側溝</p> <p>&lt;備考&gt;</p> <p>1 アンモニア等の測定について アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物については、排水基準を超過するおそれが極めて低いため、アンモニア等の測定に代わり窒素含有量を測定する。ただし、窒素含有量がアンモニア等の規制基準値 100mg/L を超過するおそれがある場合は、別途、アンモニア等の測定を実施する。</p> <p>2 日間平均値の測定について BOD 等日間平均値の排水基準が定められている項目について、通常、最大値にあっても日間平均値の排水基準を十分に下回るため、1日1回の測定を実施する。なお、日間平均値の排水基準を超過するおそれがある場合は、1日3回以上の測定を行い、日間平均値の排水基準遵守状況を確認する。</p>				

(備考)  
排水口名称等を記入してください。

(備考)

- 測定を要する項目は、排水水の汚染状態の欄に記載した項目となります。
- 汚染状態の欄について、通常検出されない(測定不要)項目欄は「-」を記入してください。
- 汚染状態の欄の通常値、最大値については、次の数値を記載してください。  
(新設事業場)  
新設事業場排水処理施設の計画値等を記載。  
(既設事業場)  
過去に実施している測定結果の通常値(平均値)、最大値を記載。

(備考)

- 各排水口におけるフローを記載してください。
- その他、排水水の測定に関する事項など参考となるべき事項を記載してください。

(その他)

既に届出されている項目に過不足がある場合は、この様式の記載事項を修正し、特定施設変更届出書(別紙1-②参照)を提出してください。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

様式第1(第3条関係)

特定施設設置(使用、変更)届出書

令和〇年〇月〇日

春日井市長 殿

届出者 住所 春日井市鳥居松町 5-44  
 氏名又は名称 春日井工業株式会社  
 法人にあっては代表者氏名 代表取締役 春日井太郎

水質汚濁防止法第5条第1項又は第2項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		春日井工業株式会社 第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		春日井市鳥居松町 5-44	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の欄	66 電気めっき施設	※施設番号	
	△特定施設の構造の欄	別紙1のとおり。	※審査結果	
	△特定施設の使用の方法の欄	別紙2のとおり。	※備考	
	△汚水等の処理の方法の欄	別紙3のとおり。		
	△排水水の汚染状態及び量の欄	別紙4のとおり。		
	△排水水の排水系統別の汚染状態及び量の欄	別紙5、別添図のとおり。		
	△排水水に係る用水及び排水の系統の欄	別紙6のとおり。		
△特定地下浸透水の浸透の方法の欄	別紙10のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の欄			
	△有害物質使用特定施設の構造の欄	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法の欄	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法の欄	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統の欄	別紙11のとおり。		

別紙1-①「排水水の汚染状態及び量(別紙4)」について、既に届出されている項目に過不足がある場合は、この特定施設変更届出書により、届出してください。  
 なお、変更に係る届出が排水水の汚染状態及び量に関する事項のみである場合は、記載例のとおり、別紙4以外の添付書類を省略することができます。

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称(指定地域特定施設にあっては、名称)を記載すること。
  - 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 4 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
  - 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 6 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

様式第 8 (第 9 条関係)

## 水 質 測 定 記 録 表

排水水の汚染状態 (特定地下浸透水の汚染状態)

測定年月日 及び時刻	測定場所		特定施設 の使用状 況	採 水 者	分 析 者	測定項目						備 考
	名称	排水量 (m <sup>3</sup> /日)				pH	BOD mg/l	COD mg/l	SS mg/l	T-N mg/l	T-P mg/l	
R2.12.1 10:40	No.1 排水口	210	通常	春日井	愛知	7.5	5.3	11	5	18	0.4	
R2.12.1 11:00	No.2 排水口	30	通常	春日井	愛知	6.5	12	14	12	10	1.1	

- 備考 1 採水の年月日と分析の年月日が異なる場合には、備考欄にこれを明示すること。  
2 排水水の汚染状態及び特定地下浸透水の汚染状態は、分けて記載すること。

(備考)

計量証明書を添付して保管する場合は、採水者、分析者及び測定項目の欄の記載を省略できます。